

令和7年度 清水小・三中グループ小中一貫教育構想図

〔目指す子どもの姿〕

〔視点1〕

〔学校教育目標〕

思いやりの心 挑戦する勇氣

〔清水小 重点目標〕

〔清水三中 重点目標〕

チャレンジ ～自己肯定感の実感・自分ってすごい～

自分から発信 ～自分から行動する、学ぶ、働きかける

〔9年間の連続性、系統性を強化した教育課程の編成・実施〕〔視点2〕

○9年間の学びの系統性を捉えた教科研修

- ・各学年、全教科の指導計画の共有

○「海洋文化・防災」をテーマとした実践(軸となる取組)

- ・海・港がある三中学区ならではの、9年間で貫く軸となる取り組みの実践
- ・地域にある清水港にて、客船の寄港による国際交流、まちづくりプランの作成、海から見た防災学習

〔教職員の協働・児童生徒の交流〕〔視点3〕

○主体的・対話的で深い学びにつながる研修

- ・小グループ活動を活かし、表現の機会を設定

○児童生徒の実態把握、一貫した指導・支援

- ・小中の教職員が互いの授業、生活の様子を参観

○9年間のゴールを見据えた指導

- ・学習、生活における学区内スタイルの共通実践

○児童生徒同士のふれあい、高め合い

- ・中学校体験、部活動見学・体験、生徒会活動紹介
- ・小中合同での企画、行事を実施

○養護教諭連携

- ・基本的な生活習慣の確立とメディアとの付き合い方

○事務連携

- ・学校預り金振替日を同一日に

児童生徒の主体性・積極性及び表現力を養う ↓ 発信力

〔小中の一貫した支援・指導の実践〕

清水小・三中学区内スタイル

＜学習＞

＜学校＞

伝える力をつける

能力・達成感・喜び

○わかり合える話し方・きき方

・発達段階に応じためざす

子どもの姿を明確にする

○授業中のルールを守る

＜家庭＞

自分から机に向かう

○「家庭学習の手引き」活用

○時間の目安

① 10分×学年+10分

② 1,2年2時間 3年3時間

○読書・自学の推奨

＜生活＞

＜学校＞

自ら判断する

相手を思いやる行動

○挨拶・言葉遣い <学校・家庭・地域で>
・温かい反応 ・はっきり返事 ・思いやりある言葉

○心を伝える3つの言葉

(おはよう ありがとう ごめんなさい)

○時間を意識して守る

○みんなのために進んで清掃

＜家庭＞

心身ともに健康な
生活の基盤を作る

○規則正しい生活

(早寝・早起き・朝ごはん)

○メディアコントロールデー

○家族とのかかわり

〔地域との連携〕〔視点4〕

○地域の方とともに行う授業・行事

- ・地域行事への積極的な参加

・インターネット安全利用講座(小6～中3)

・メディアコントロールデー(毎月11日)

・小中面談日統一

○小中学校運営協議会の推進

- ・三光町花の会との共同作業(三光町花壇定植・奉仕作業)

・地域防災

・清水地区運動会

〔子どもの実態〕

○何事に対しても誠実に、指示されたことにはまじめで前向きに取り組むことができる。

○落ち着いた態度で学習に取り組むことができる。 ○自己や他者の良さを見つけようとするすることができる。

△自ら進んで主体的・積極的に取り組むことは苦手である。

△友達の意見に反応したり、自分の思いを話して伝えたりする表現力に課題がある。

△他者との関わりの中で、折り合いをつける力に課題がある。